

尚学院

3 K S 英語標準

長文読解
《読解の基礎》

氏名 _____

目 次

はじめに		… 1
英文を読むための基礎知識		
1	品詞	… 3
2	文型	… 4
3	句と節	… 7
4	並列	… 10
5	語順変化を意識する読み方	… 12
Lesson 1	Phrase Reading (1)	0. 「英語の文章を読む」とは? 1. フレーズ・リーディング 2. フレーズの区切り方 … 17
EXERCISES 1	Phrase Reading (1)	… 24
Lesson 2	Phrase Reading (2)	3. フレーズ・リーディングでまとまった文章を読む … 28
EXERCISES 2	Phrase Reading (2)	… 34
Lesson 3	文のつながり(1)	1. 言い換え語句 … 38
EXERCISES 3	文のつながり(1)	… 42
Lesson 4	文のつながり(2)	2. 文と文をつなぐ語句 3. 文の展開ルール … 46
EXERCISES 4	文のつながり(2)	… 56

はじめに

大学入試の英語は、何と言っても長文の読解力で決まる。昨年度から始まった大学入学共通テストでは、第1問から第6問まで全て長文読解問題が出題されており、また大多数の私立大・国立大、中堅大・難関大の入試においても、長文読解総合問題は必ず出題され、配点の大部分を占める。よって、「**長文読解を制する者は入試英語を制す**」と言っても、決して言い過ぎではないのだ。

しかし「英語長文を読む」と一口で言っても、実は長文読解は「単語を知っていたら読める」とか「文法が分かれば読める」とか、何か1つ2つの技術を身に着けるだけで簡単に読めるようになるものではなく、語彙力・文法力・速読力・大意把握力など、ことばの多様な技能が試される総合力問題である。だから、「これだけをやればすぐに英語の長文が読めるようになる」という単純な対策は存在しない。長文読解力を向上させるには、結局はこれら全ての力をバランスよく、丁寧に育てていかななくてはならないのだ。

本書ではまず、『**英文を読むための基礎知識**』で、英語の文を理解するための前提となる用語や知識を確認する。採り上げるのは品詞・句・節・5文型など、高校英語の基礎中の基礎の内容だが、英文読解力を高めるためには避けて通れないものだ。これらの基礎知識をしっかり理解することが、長文読解の最初のステップである。

Lesson1からは、長文読解に必要な技術の中で最も基本的なものを2つ(『**Phrase Reading**』『**文のつながり**』)取り上げて学習する。これらは、本来長文を読み解くためには基本中の基本の技術なのだが、学校の通常授業できちんと学ぶ機会ほとんどないのが実情のようだ。これらを確認して練習問題に取り組みながら、長文読解のための基礎力を身に着けることが、本書の目標である。

Lesson 1 Phrase Reading (1)

0. 「英語の文章を読む」とは？

「英語を読む」とは、いったいどういうことなのでしょうか。何ができれば、「私は英語で書かれたこの長い文章を読めた!」と言うことができるのでしょうか。皆さんは考えたことがありますか。

入試という場面で、試験問題の英語長文を読むという状況を考えて場合、文章を読むことのゴールは「英文を始めから終わりまできれいに和訳する」ことではありません。英語を日本語に訳し直す作業は、それだけ時間と労力が必要になりますが、入試という場での長文読解においては、読む時間が限られているので、隅から隅まで一つ一つの語と意味を分析していると、解答時間が足りなくなってしまう。英文を読む上で最も大事なことは、その英語の文章から、その文章の主旨(筆者が読者に伝えたいこと)であり、和訳はほとんど必要ないのです。



《英語から直接意味をつかむほうが、手間と時間の節約になる。》

つまり、英語の長い文章は、隅から隅まで 100%理解する必要も、また全てを適切な日本語に訳す必要もありません。例え理解度は 80%程度であっても、その文章の主旨(つまり「この文章で筆者が言いたいことはこれとこれとこれだ!」というようなこと)を自分の頭の中で理解することができれば、それで文章読解はほぼ成功だと言えるのです。大学入試の長文問題でも、ほとんどのものは、これくらいの理解度で十分に解くことができます。

1. フレーズ・リーディング

英文読解の究極的な理想は、ネイティブスピーカーと同じように、目に入ってくる英語を英語のまま理解できるようになることです。つまり、「英語の文章を、英語の順序通りに理解し、英文のメッセージを正しく頭の中に受け取っていく」ということなのですが、もちろん、日本人である私たちは、それができないから苦労しているわけです。

では、せめてその理想に近づいていくために、私たちは何をすればよいのでしょうか。その最初の一步として、英語の文を英語の語順のまま、「意味のまとまり (sense group) 」ごとに読んで、意味をつかむという読み方を練習することから始めましょう。この読み方を「フレーズ・リーディング」といいます。英文の中に、意味のまとまりごとにスラッシュ (/) の記号を入れて、文を区切りながら読む練習をしてみます。

[例] There are ten students / in the classroom. 「意味のまとまり」ごとに区切ると

⇒ 「 / 」というメッセージが読み取れるでしょう。

Reading 1

〔目標解答時間:7分〕

次の文は「意味のまとまり(sense group)」ごとに区切られています。例にならって、英文の「意味のまとまり」ごとに日本語をつけなさい。

例) He is looked up to / by all of his friends / because he is a man of his word.

彼は尊敬されている / すべての友人によって / なぜなら彼は約束を守る男だからだ

(1) The girl / waiting for you under the tree / suddenly disappeared / after the shower.

(2) My teacher advised us / to guess the meaning / of unknown words / from the context.

(3) The children learned the language faster / than their parents had expected.

(4) I usually leave the door a bit open / while I am out / so that my cat can come in.

(5) We were very excited / to hear the news / that our son won the first prize / at the speech contest.

(6) Have you got any idea / of what you're going to do / when you finish school?

(7) I learned a lot / from the book / which my father had given to me / for my Christmas present.

【語句】 disappear : shower : にわか雨 guess O : O を推測する context : 文脈 a bit :
first prize : 一等賞

2. フレーズの区切り方①

フレーズ・リーディングで文を読む時は、文をどの位置で区切るかが大切です。何も考えずに適当な位置で区切ってしまうと、かえって内容を理解しにくくなりますが、もちろん逆に、英文を理解しやすくするような区切り方もあります。ここからは、その適切な区切り位置を①から⑧まで全部で8点、紹介していきます。

① 記号・符号(コンマ、コロソ、セミコロソ、ダツシュなど)の後

1文の終わりを示す記号である**ピリオド**、**クエスチョンマーク**、**エクスクラメーションマーク**で区切るのは当然だが、**コンマ**、**コロソ**、**セミコロソ**、**ダツシュ**など、1文の内容を細かく区切る記号も、意味のまとまりを示す目印になる。

例1 Keita wants to study abroad, so he has started saving money from this week.

ケイタは海外で勉強したいと思っている だから彼は始めた お金を貯めることを 今週から

例2 Meg takes four courses: Literature, Linguistics, Biology, and Chemistry.

メグは4科目を取っています 文学、言語学、生物学、そして化学です。

例3 Many kids — including their mothers — participated in the event.

たくさんの子供たちが 彼らの母親たち 参加した その催し物に。

② 基本5文型のまとまりの後

英文の4要素(SVOC)から成る、いわゆる基本5文型は、もちろん一つのまとまった文として意味を作るので、その**後で区切る**のがよい。文の基本型の後にさらに語・句・節が続く場合は、前部とは分けて意味をつかもう。

例4 They are climbing the mountain singing amusing songs.

彼らは山に登っている 愉快な歌を歌い

特に文中で**形式主語**または**形式目的語**の **it** が用いられている場合は、いったん **it** までを含めた基本文型の範囲で区切り、その中の意味を把握してから、後の部分へ進むのがよい。

例5 It's significant to try to understand different cultures.

それは 異文化を理解しようとする

例6 I think it natural to take care of my little brothers when my parents are very busy.

私はそれ 思う 小さい弟たち 両親がとても忙しい時に

フレーズ・リーディングを行う場合は、/ (スラッシュ) で区切るだけでなく、他の記号や符号も用いて印をつけると、英文をさらに視覚的に捉えやすくなり、理解しやすくなります。例えば、**意味のまとまり**を () < > [] [] などの**カッコ**で囲んだり、**ポイントになる語**を○や□で囲ったり、**下線**や**二重線**や**波線**を引いたりするとよいでしょう。自分自身が一番分かりやすく読み取ることができるように、自分なりの印の付け方・書き込み方を工夫してみましょう。

③ 接続詞の前

接続詞には**等位接続詞** (and, or, but など) と**従属接続詞** (that, when, if, because など) の2種類があるが、どちらもその後の内容をつなげて意味のまとまりを作るので、その**前で区切る**のがよい。

例7 Is Matt going to visit us in the morning or in the afternoon?

マットは私たちのところを訪れる予定ですか 朝に

例8 Kevin found that Carl was a very good guitarist.

ケ빈は気づいた

例9 Please contact us if you need more information.

どうぞ私たちに連絡を下さい あなたがもっと多くの情報を必要とする

特に**等位接続詞 and** は、前後の内容をどう結んでいるのかを誤解させることが多いので、**どの語・句・節・文を結んでいるか**を注意して正しく見極める必要がある。

例10 Jane went to the party, danced with Timmy and Zack, and sang in front of the people.

ジェーンはパーティーに ティミーやザックと 人々の前で歌を

単語2語以上がまとまって一つの接続詞の働きをする熟語もある。

例11 As soon as we get to the airport, we are going to have supper.

空港に着 私たちは夕食をとる予定です。

④ 形容詞節を作る関係詞の前

関係代名詞・関係副詞は、先行する名詞(※先行詞と呼ばれる)を修飾する節(形容詞節)を作るので、その**節の範囲をカッコで区切る**のがよい。

例12 I have an uncle who lives in New York.

私は叔父がいる

例13 The TV program which Eddy recommended me to watch was really interesting.

そのテレビ番組 は、本当に興味深かった。

ただし、**目的格の関係代名詞は省略されることがある**点に注意しよう。

例14 The doctor Pam saw yesterday told her to get more exercise.

その医者 は 彼女に言った もっと運動するように。

⑤ 前置詞の前

前置詞は、**後に置かれる名詞と合わせて一つのまとまった意味を作る**ので、必ずその**前で区切る**ようにする。

例15 I arrived at the bus stop earlier than my friends.

私はバス停に早く着いた 友人たち

例16 When Jack was 18, he was the captain of the swimming club in his school.

ジャックが18歳だった時 彼はキャプテンだった

⑥ to 不定詞の前

to 不定詞は、その後の内容が意味のまとまりを作るので、**to の前で区切る**のがよい。

例 17 We practiced very hard to win the important game.

私たちはとても一生懸命 その重要な試合に

例 18 Was your wife surprised to see Kurt and Nancy at the restaurant last night?

あなたの奥さんは驚きましたか カートとナンシーに そのレストランで 昨晚

⑦ 長い主語・目的語の後

文中の主語・目的語が長くなっている場合は、メインである名詞の後に長い修飾句 [節] が置かれている (**後置修飾**) 可能性が高いので、その**句・節の範囲をカッコで区切る**とよい。

例 19 I need a good private tutor to teach me English every week.

私は必要としている いい家庭教師を

.....
特に現在分詞句・過去分詞句の後置修飾には注意しよう。

例 20 The girl sitting on the bench is my cousin Jenny.

私のいとこのジェニーだ。

⑧ 熟語・慣用表現・特殊な構文などの前後

複数の単語がまとまって一つの意味を作っている場合は、あえてそのまとまりをさらに細かく区切る必要はない。自分が自然に理解できる範囲で区切ればよい。

例 21 He managed to pass her driving test on the fifth try.

彼は 運転免許の試験に 5回目の挑戦で

例 22 Did you help Masato to do his homework during the summer vacation?

あなたはマサト を手伝いましたか 夏休みの間

例 23 We were watching them dance gracefully on the stage.

私たちは彼ら を見ていた 優雅に 舞台の上で

例 24 Not until today did I realize how well Tessa could play the piano.

今日までではない 私は気づいた どれほど上手にテッサがピアノを弾けるのかに

= ※今日まで私は / ※今日に 私は気づいた

Reading 2

[目標解答時間: 10 分]

次の文を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) The man explained to all the villagers that the heavy rain would wash away their houses.

(2) A person's happiness can't be judged by what one has but by what one is.

(3) The special robot was developed to support the people who need assistance with eating.

(4) Whether or not you can see Mt. Fuji from the window depends on which side of the train your seat is.

(5) From the reasons shown in the table it seems that in every country parents do not expect care from their children in their old age.

[HINTS] (1) that 節 (2) 関係代名詞 what に注意 (3) to 不定詞・関係詞 (4) 長い主語 (5) まず主語を見極める。

【語句】 villager : wash away O : Oを judge O : Oを判断する one : 人
assistance : 手助け depend on A : Aに /A table : 一覧表

次の文章を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

Expert chess players often seem to have almost magical powers. They appear to easily

know the best thing to do in any situation. Most people assume that such experts must have

been born with special abilities that ordinary people don't have. We have the same feeling when

we encounter expert musicians, composers, and sports players. Especially if they show their

ability when they are young, we think their talent must be "natural" rather than the result of

study, training, and practice.

[81語]

[HINTS] ①～⑩の区切り方を参考にしながら、意味のまとまりを区切り、内容をつかもう。

【語句】 expert : 熟練した seem [appear] to 不定詞 : 不定詞する

in any situation : どんな場合 [状況] でも assume that SV : SがVすると思う [想定する] be born :

ability : ordinary : encounter O : Oに出会う composer : 作曲家

talent : natural : 生まれつきの rather than A : Aよりはむしろ

Exercise 1 Phrase Reading (1)

得点 /50

得点 /20

Exercise 1

〔目標解答時間:10分〕

次の文章を読み、後の質問に答えなさい。

Tom and Mary worked in the same office in Osaka. He was a hard worker, but Mary thought he was a little too aggressive for a newcomer, especially in a Japanese company. For instance, Tom thought he had the right to take days off whenever he wanted to, as long as it was within the limits written in his contract. (a)The company, however, often would not grant his requests, especially when there were a large number of other people who requested the same days off. He repeatedly complained about it very loudly.

Finally, Mary, the only non-Japanese working with Tom, had enough. She approached him. “Tom, I understand your logic, but you are new here. Some of the other employees have been here a long time, and they do not always have their requests granted, either. Remember, in Japan, the nail that sticks out gets hammered down.” “Oh, no, you’re wrong,” 10 replied Tom, “I believe (b)the squeaky wheel gets the grease.” [滋賀医大 161 語]

【語句】 aggressive : 積極的な newcomer : especially : right :
day off : (仕事の) 休日 whenever SV : SがVする時はいつも as long as SV : SがVする
within A : A limit : contract : 契約(書) grant O : O(要求など)を聞き入れる
repeatedly : complain : have enough : もううんざりだと思う
approach O : Oに logic : 論理、理屈 employee :
have O 過去分詞 : Oを分詞してもらう nail : 爪/釘 stick out :
hammer O down : Oをハンマーで打ちつける squeaky : キーキーいう wheel :
grease : 潤滑油

A 下線部(a)を意味のまとまりごとにスラッシュ(/)などを入れて区切り、その区切りごとに日本語をつけなさい。また、それをもとに和訳を作成しなさい。(10点)

The company, however, often would not grant his requests, especially when there were a large

number of other people who requested the same days off.

和訳:

B トムの言った下線部(b)“the squeaky wheel gets the grease.”とはどういう意味ですか。下の()に適切な日本語を入れて完成させなさい。(10点)

「()しないと、要求はかなえられない」

[HINTS] A 関係代名詞に注意する。

B Tom の置かれた状況と、対比して言われている Mary の言葉 “the nail…” から類推する。

Exercise 2

[目標解答時間: 10分]

次の文章を読み、後の質問に答えなさい。

(a)One of the best reasons for you as a Japanese student to do a homestay is that the experience provides double benefits. The first advantage is that it gives you knowledge of the workings of another culture. The second merit is that it gives you a daily chance to work on improving your English. You can increase your knowledge of English during your homestay in any number of ways, such as by watching television, listening to songs, talking on the phone, reading books, and the like. But the best way for you to brush up your English, while learning about another culture, is to interact with your host family.

Communication is a (1)two-way street. Sometimes you will be called upon to explain things, and sometimes you will just need to listen. (b)One of the first opportunities for you to communicate with your host family will be to comment about the present that you have brought for them.

Why should you bring a gift for your host family in the first place? A present from your country is a way to express your thanks to your host family for allowing you to stay with them. Besides, gift-giving is an excellent way to (2)break the ice and get to know your host parents and family. It is a natural conversation starter, a fine way for you and your host family to get acquainted.

[神戸女子短大 231 語]

A 下線部(1)(2)の意味に最も近いものを、それぞれ a～d から選びなさい。

(各5点)

(1) two-way street

- a. speaking and writing English
- c. sending and receiving messages

- b. using both of Japanese and English
- d. understanding and misunderstanding

(2) break the ice

- a. crush the ice
- c. erase the awkwardness

- b. remove the misunderstanding
- d. hide one's feelings

(1) _____ (2) _____

B 下線部(a)(b)を意味のまとまりごとにスラッシュ(/)などを入れて区切り、その区切りごとに日本語をつけなさい。また、それをもとに和訳を作成しなさい。(各 10 点)

(a) One of the best reasons for you as a Japanese student to do a homestay is that the experience

provides double benefits.

和訳:

(b) One of the first opportunities for you to communicate with your host family will be to

comment about the present that you have brought for them.

和訳:

[HINTS] A 語句の意味からではなく、文脈から判断する。 B フレーズ・リーディングで意味を的確に取る。

【語句】 provide O : O を benefit : advantage : working : 仕組み
merit : work on A : A に従事する any number of A : かなり多くのA and the like : ~など
brush up O : O (技術) に interact with A : A と触れ合う、交流する
call on[upon] O to 不定詞 : O に不定詞するように求める in the first place : まず第一に、そもそも
express O : O を allow O to 不定詞 : O が不定詞する get to 不定詞 : 不定詞する
conversation : get acquainted : 親しくなる awkwardness : 間の悪さ、ぎこちなさ

Lesson 2 Phrase Reading (2)

3. フレーズ・リーディングでまとまった文章を読む

英語と日本語は、文を作る際の単語の並べ方(語順)が大きく異なるので、英文をきちんとした日本語に直して理解しようとすると、1つの文を読むのに長い時間がかかってしまいます。英語を母語とする人たちと同じようなスピードで英語を読めるようになるためにも、フレーズ・リーディングを身につけることは大事なのです。

一般的に、英語は、[[主語]-[述語動詞]]という大きな柱が先に来て、その柱に補足説明が次々と付け足されていくという形で1つの文が構成されます。ですから、次の例1のように、

例1 ① I ② borrowed a book ③ from the city library ④ yesterday.

⇒ ①私は ④昨日 ③市立図書館で ②本を借りた という、日本語の正しい順番で理解するのではなく、

⇒ ①私は ②本を借りた ③市立図書館で ④昨日 というように、

英語の語順の通り、①→②→③→④という順番で読み、メッセージを受け取るようにしましょう。

また、フレーズ・リーディングに慣れてきたら、sense group 一つの区切りを長くしてみましょう。いっそう速く読めるようになるはずです。

次の英文を例にとってみます。

例2 A lot of people in this town are glad to know that a new park will be built.

この文は、これまでに確認したポイントを基準にして細かく区切ると、以下のように読むことができます。

例2' A lot of people <in this town> are glad / to know [that] a new park will be built.]

多くの人が <この町の> 喜んでいる / 知って [新しい公園が作られる] ということを]

しかし、これをもう少し長めに区切ってみると、例えば以下のように読むことができます。

例2" A lot of people in this town / are glad to know [that] a new park will be built.]

この町の多くの人が / 知って喜んでいる [新しい公園が作られる] ということを]

このように長く区切ると、意味をつかむ場所の数を減らすことができ、その分、読むスピードを上げることができるのです。

ただし、区切る範囲が長すぎると、かえって内容をつかみにくくなるということもあります。あくまでも、文を読んでいる自分がきちんと内容を理解できる [メッセージを受け取ることができる] 範囲で区切るようにすることが大切です。

Reading 1

〔目標解答時間:5分〕

次の文を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) Their bus was so crowded that they could hardly move an inch.

(2) We should protect these endangered animals from extinction: the giant panda and the albatross.

(3) John was too shy to express his true feelings in front of Naomi.

(4) It is easy to install the antivirus software.

[HINTS] (1) so ~ that 構文 (2) コロン (3) too ~ to 構文 (4) 形式主語

【語句】 hardly : ほとんど~でない inch : インチ [※長さの単位 : 1インチ=2.54cm] endangered : 絶滅の危険のある
extinction : 絶滅 albatross : アホウドリ install O : Oを
antivirus software : ウイルス対策ソフト

Reading 2

〔目標解答時間:7分〕

次の文を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) People young and old, smart and stupid, sophisticated or not, have their views and values.

(2) As a matter of fact, it is the tiny species, such as bacteria, that keep nature in balance.

(3) The students were asked to choose from the following: satisfied, somewhat satisfied, somewhat dissatisfied, dissatisfied, or don't know.

(4) Hardly had they got on the highway when they found themselves in a heavy traffic jam.

[HINTS] (1) コンマ (2) 慣用表現・強調構文 (3) コロン (4) 倒置構文

【語句】 smart : sophisticated : 洗練された、教養のある views and values : 意見と価値観
as a matter of fact : tiny : species : 種 keep O in balance : Oのバランスを保つ
following : 次に述べること、下記のもの somewhat : 少し、いくぶん
Hardly V S when S' V' : S'がV'する時、SはほとんどVしない ⇒ SがVする、S'はV'する
highway : 主要〔幹線〕道路 traffic jam :

Reading 3

〔目標解答時間：7分〕

次の文を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) They are twin sisters and look very much alike, the only difference being that Lucy is a little taller than Mary.

(2) Emmy is familiar with classical music and has about five times as many CDs as I do.

(3) It may be between 10,000 and 15,000 years ago that man's first clash with nature may have begun.

(4) No sooner had the passengers gotten into the bus than it departed, heading up along the Kamo River through Kyoto.

[HINTS] (1) 付帯状況を表す独立分詞構文 (2) 慣用表現 (3) 強調構文 (4) 倒置構文・分詞構文

【語句】 alike : be familiar with A : A と親しい／A を man : clash : 衝突
No sooner V S than S' V' : S'がV'するよりも、SがVするのが早いということは全くない
⇒ SがVする、S'はV'する
passenger : depart : 出発する head (for A) : (Aに) 向かって進む
Kamo River : 鴨川 (※京都を流れる川)

Reading 4

〔目標解答時間: 10 分〕

次の文章を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

There are some people who actually enjoy work — in fact, they love to work. They spend

many extra hours on the job each week and often take work home with them. These

workaholics are as addicted to their jobs as other people are to drugs or alcohol.

Government workers in Washington, D. C., for example, frequently work sixty to seventy

hours a week. They don't do this because they have to; they do it because they want to. [77 語]

[HINTS] 最終行の "have to" "want to" の後に何が省略されているかを考える。

【語句】 in fact : extra : 超過の workaholic : 仕事中毒者 be addicted to A : A の中毒になっている
drug : frequently : しばしば、頻繁に

Exercise 2 Phrase Reading (2)

得点 /50

得点 /22

Exercise 1

〔目標解答時間: 15分〕

次の文章を読み、後の質問に答えなさい。

According to a popular legend, coffee was discovered in Ethiopia sometime around 850 A.D., when a herd of goats was observed dancing wildly around a small tree with bright red fruit. People found that this fruit contained a powerful mental and physical stimulant, and in less than a century a kind of drink was made from this “bean.”

Actually, coffee beans were used as food by Ethiopian and other African peoples more than 2000 years ago. Crushed ripe coffee tree fruit was mixed with fat and eaten for its stimulating effects before battles. (1)Beans were later fermented to make a wine, but it wasn't until about 1000 A.D. that Arabian people began to boil coffee beans to produce a drink similar to what we know today. At first, the stimulant was used only under the advice of a doctor for the purpose of curing diseases. But coffee was too exciting a discovery to be used only for medical purposes. It wasn't long before the first coffeehouses opened right in the heart of Mecca. The idea of these clubs as centers for social, political, and philosophical debates spread to Europe through Venice, where the first one opened, according to some sources, in 1645. By 1652, London's first coffeehouse had opened. By the beginning of the 19th century, coffee was recognized as a worldwide drink both economically and socially. (2)Although restricted to Arabia until the late 1600s, by the 1800s high quality coffee beans had been smuggled to such places as Java and Brazil, and eventually a large supply of beans was made available all over the world.

〔関西学院大 266 語〕

【語句】 <u>according to</u> A : A に	<u>legend</u> :	<u>discover</u> O : O を	Ethiopia : エチオピア
<u>sometime</u> :	A.D. : 紀元後	<u>herd of goats</u> : ヤギの群れ	<u>observe</u> O : O を
<u>contain</u> O : O を	<u>stimulant</u> : 刺激物／興奮誘発剤		<u>people</u> : 国民、民族、種族
<u>crush</u> O : O を	<u>ripe</u> : 熟した	<u>mix O with A</u> : O を A と	<u>fat</u> :
<u>stimulate</u> O : O を	<u>ferment</u> O : O を発酵させる	<u>similar to</u> A : A に	
<u>cure</u> O : O を	Mecca : メッカ (※サウジアラビアにあるイスラム教の聖地)	<u>political</u> :	
<u>philosophical</u> : 哲学的な	Venice : ヴェニス (=ヴェネチア: イタリアの都市)	<u>source</u> : 源／	
<u>recognize</u> O : O を	(be) restricted to A : A に限定されている	<u>smuggle</u> O : O を密輸する	
Java : ジャワ島	<u>eventually</u> :	<u>supply</u> :	<u>available</u> :

A 下線部(1)(2)を意味のまとまりごとにスラッシュ(/)などを入れて区切り、その区切りごとに日本語をつけなさい。(各8点)

(1) Beans were later fermented to make a wine, but it wasn't until about 1000 A.D. that Arabian

people began to boil coffee beans to produce a drink similar to what we know today.

(2) Although restricted to Arabia until the late 1600s, by the 1800s high quality coffee beans had

been smuggled to such places as Java and Brazil, and eventually a large supply of beans was

made available all over the world.

B 本文の内容と一致しないものを一つ選びなさい。(6点)

- a. 言い伝えでは、興奮して激しく飛び跳ねるヤギの群れがきっかけで、コーヒーが発見された。
 - b. 昔、コーヒーは人を興奮させる効果があるため、戦いの前に飲まれた。
 - c. 1645年に世界初のコーヒー店がヴェニスで開店した。
 - d. 19世紀初頭までには、コーヒーは世界的な飲み物だと認められた。
-

Exercise 2

〔目標解答時間:15分〕

次の文章を読み、後の質問に答えなさい。

Tornadoes, sometimes called “twisters,” are whirlwinds with speeds of up to 400 km per hour. In the USA, there are 1,000 tornadoes every year. They look fascinating and dramatic when we are watching them on TV, but they can kill. In Britain, there were very few tornadoes in the past. Now there are more than 50 tornadoes a year.

Tornadoes are only one sign of the world’s climate changes. There are many others. The number of thunderstorms is increasing and there are more hurricanes. There are more floods in some parts of the world, and there’s much less rain in others. We know that these things happen because global temperatures are rising. Many people believe the weather will get worse in the future. The problems of climate change won’t go away unless we do something about the causes. 10

Scientists still do not know enough about the reasons for these temperature changes. Some say that these types of climate changes are natural, but most scientists think human activity is the problem. (1)Cutting down trees, burning too much oil, and the increase in the number of cars and planes are some of the reasons that cause climate changes.

Scientists believe that if temperatures continue to rise, the ice at the poles will melt. If 15 the ice melts, sea levels will rise. Some islands might disappear completely, and there might be floods in coastal cities. (2)All this means that unless we do something to stop global warming now, there may be many other dramatic changes in the future. [札幌学院大 255 語]

A 下線部(1)(2)を和訳しなさい。

(各8点)

(1)

(2)

B 本文の内容と一致するものを3つ選びなさい。

(各4点)

- a. The weather is changing around the world because temperatures are rising.
 - b. Most scientists think the climate changes are natural.
 - c. If the ice at the poles continues to melt, sea levels will go up even more.
 - d. In Britain, there are more than 1,000 tornadoes a year.
 - e. Few people believe that the weather will become worse in the future.
 - f. One sign of climate change is the increased number of thunderstorms.
 - g. Globally, the hottest years have occurred in the past fifteen years.
- _____

【語句】 tornado : 竜巻 whirlwind : つむじ風 up to A : (最大) A まで per A : Aごとに、Aにつき
fascinating : climate change : thunderstorm : 雷雨
hurricane : flood : temperature : unless SV : SがVし
pole : 極、極地 melt : disappear : completely : coastal :
occur : (出来事が)